



令和8年4月25日

練馬中学校 学校だより

練馬区立練馬中学校
校長 本杉 貴保

一人一人がいきいきと生活する学校 ～知・徳・体の調和のとれた生徒の育成～

4月に入り進学・進級等で環境が変わり、生徒も教職員も新たな気持ちで学校生活を始めて3週間が過ぎようとしています。生徒一人一人の生き生きとした表情等を見ることができとても嬉しく思っております。生徒には、一日一日を大切に過ごし失敗を恐れず学習、委員会、部活動等に全力で取り組み、多くの経験から将来の糧となるものを得てもらいたいと考えております。変化の激しい社会の中でたくましく生き、誰からも信頼され頼られる大人になるために教職員一同一丸となって教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様をはじめ多くの方々のご協力よろしくお願いいたします。教育目標等ご紹介させていただきます。

1 練馬中学校の教育目標

人間尊重・生命尊重の精神を基調とし、社会の変化に主体的に対応できる知性と感性に富み、健康で人間性豊かな練馬中学校の生徒を育てることをねらいとして、次の目標を定めています。

「不惜精進～自主・勤勉・共生～」

- 自主…自分で考え、判断し、行動できる人
- 勤勉…何事にも真面目で、一生懸命取り組む人
- 共生…互いの違いを認め、助け合って生きることのできる人

2 めざす生徒像（社会で活躍するために）

(1) 学習、学校行事、部活動等に主体的・積極的に取り組む生徒

※主体的 → 情報を精選し、状況を把握し自らの判断等で行動できる

※積極的 → より良いものを作ろうと自分の意見を主張できる

(2) 一人一人が練馬中学校の代表としての自覚をもち、他を思いやる心をもち、互いに高め合う生徒

(3) 明るく、元気で、前向きに学校生活をおくる生徒

<上級生から学ぶ> <認め合い、励まし合い、高め合い> <ミーティング>

<感動、感謝、モチベーションの向上>

- ・意欲的に授業に取り組む生徒（簡単な感想・発言等ではなく、知識等に基づいた発言・提出物）
- ・積極的に行事に取り組む生徒（実行委員・係・ミーティング） → ともに感動を味わえる
- ・面接において、自分の活動（部活動、係活動、ボランティア等）を自慢できる生徒
- ・文章や情報を正確に読み取れる生徒（語彙力の向上）
- ・TPOに応じたあいさつができる生徒（大きな声でのあいさつ、会釈の使い分け）
- ・社会的なマナーを習得する

●教職員の異動について

【退職・転出・任期満了】 12名

【転入・新規採用】 13名